



大阪早稲田俱樂部NEWS

第1回校友会大阪府支部ゴルフ大会



順位		グロス	HDCP	NET
1	中西 藤和	44	45	89 19.2 69.8
2	池部 亨	42	44	86 15.6 70.4
3	平田 房夫	42	37	79 8.4 70.6
4	川見 洋史	39	36	75 3.6 71.4
5	小西 康仁	42	43	85 13.2 71.8
6	堀切 茂友	39	38	77 4.8 72.2
7	土屋 圭吾	38	38	76 3.6 72.4
8	白澤 良樹	44	43	87 14.4 72.6
9	奥 淑子	49	44	93 20.4 72.6
10	竹内 定夫	44	43	87 14.4 72.6
11	高森 浩一	45	47	92 19.2 72.8
12	佐々木恒己	40	39	79 6.0 73.0
13	内田 徹	50	45	95 21.6 73.4
14	伊藤 修一	47	41	88 14.4 73.6
15	人見 亨	43	45	88 14.4 73.6
16	鈴木 慶一	41	47	88 14.4 73.6
17	藤原 実	48	52	100 26.4 73.6
18	稻部 勝博	40	40	80 6.0 74.0
19	関 邦彦	41	44	85 10.8 74.2
20	角 和夫	43	42	85 10.8 74.2

校友会125周年記念の第1回校友会大阪府支部ゴルフ大会が9月11日、兵庫県加東市のタイガースゴルフクラブで開催された。9月に入つても猛暑が続くなかった京都府支部、奈良県支部、神戸早稲田クラブ、宝塚稻門会、東播稻門会、さらには東京から目黒稻門会の校友、また、同志社大商学部樹徳会からも参加いただき、中高年世代から昨年卒業した若手まで総勢30組129人がさわやかにプレーしました。

優勝はグロス89、ネット69・8の中西藤和さん(昭36年理工院)。角和夫支部長から優勝杯を贈られた中西さんは「75歳の後期高齢者の私が栄えある第1回月に入つても猛暑が続くなかった京都府支部、奈良県支部、神戸早稲田クラブ、宝塚稻門会、東播稻門会、さらには東京から目黒稻門会の校友、また、同志社大商学部樹徳会からも参加いただき、中高年世代から昨年卒業した若手まで総勢30組129人がさわやかにプレーしました。

協賛の12社からホテルのペア宿泊券や阪神タイガースの選手のサイン入りバット、グリコのお菓子、パックご飯などが上位の入賞者や飛び賞の人たちにプレゼントされ、盛り上がりがつた表彰式は校歌斉唱でお開きとなつた。

(広報委員会)
準優勝は池部亨さん(昭43年理工)、ベストグロスは75の川見洋史さん(平5年人科)だった。上位20人の成績は別表の通り。

フジワラテニススクール近況報告



豊島惠子(昭52年法)
敏志くん、これからも頑張ろうね!

開校18年、フジワラテニススクールにも、新しい世代が育つてきました。親子ペア、じい孫ペアの楽しい対戦が見られるようになりました。今回ユニア、小学4年生の敏志くんに感想を書いてもらいました。敏志くんは、参加されるたびにぐんぐん上達されるので、おじさん、おばさん達はビックリしています。では、敏志くん、どうぞ。「さいしょの練習でぶじわらせんせいがボールをなげてきてそれをうつのがたのしかったです。でも、いちばん上の部ぶんにあたると重くかんじます。だからぼくは少しきにしていました。でも、いつまん中にあなるとラケットをかるーくふれます。でも、いつまんうちにあなるとラケットをかるーくふれます。だからぼくは少しきにしていました。でも、いつまん中にあなるとラケットをかるーくふれます。だからぼくは少しきにしていました。でも、いつまん中にあなるとラケットをかるーくふれます。」敏志くんは少しきにしていました。でも、いつまん中にあなるとラケットをかるーくふれます。だからぼくは少しきにしていました。でも、いつまん中にあなるとラケットをかるーくふれます。」





Wフォーラム てくてくハイキング

時枝奉之（昭45年院・理工研）

7月10日・六甲山トエンティクロス

新神戸駅→布引滝→布引貯水池→市ヶ原→地蔵谷出合→トエンティクロス→森林植物園東門→ブリスベーンの森（昼食）→正門→北鈴蘭台駅→灘温泉→パンダ飯店→王子公園駅



7月は暑いので、溪流を徒歩しながら歩いて涼を求める六甲山のトエンティクロスと、晴天に恵まれ楽しく歩くことが出来た。布引谷は取り付けており登る。3つの滝を見ながら15分で雄滝着。連日の雨で水量が多いが、砂防ダムの設置

く豪快に流れ落ちていた。全員で写真を撮り布引貯水池へと向かう。

などにより現在は6回とになっている。そして飛び石が置かれているので、登山靴を脱いで水の中を歩く必要はなく便利だ。

始めは飛び石の上に板が渡してあったり乗りやすい飛び石で良かったが、その後に飛び石の上を増えて満足し散会した。

王子公園駅→摩耶ケーブル下→摩耶山上→天狗道→稻妻坂→布引ハーブ園→風の丘→布引貯水池→布引滝→新神戸駅→灘温泉→パンダ飯店→王子公園駅

9月11日・摩耶山&布引ハーブ園

王子公園駅→摩耶ケーブル下→摩耶山上→天狗道→稻妻坂→布引ハーブ園→風の丘→布引貯水池→布引滝→新神戸駅→灘温泉→パンダ飯店→王子公園駅

予想外の猛暑が9月になつてもおさまら

噴き出すため飲む水分の量が増える。すれ

べ、熱中症で倒れる

違うハイカーは、猛暑の中での急登のため

と大変なので中止に

とんでもない汗に濡れた長袖シャツとアン

したものがと思案したが、9月6日に下見

に皆フーフー言つて

をした結果、熱中症予

を下りを選択した

正午前に森林植物園に到着。森林植物園は

山口委員長の賢明な

12.3haと広大で、

トボトルの水分が汗

昼食の場所まで20分

噴き出すため飲む水分の量が増える。すれ

を要し空腹を覚える。

あじさい園では、咲き誇る見事な紫陽花

の色合いを楽しんだ。

山のトエンティクロスと、

満員のシャトルバス

で北鈴蘭台駅へ向か

ったが、駅に着いてから森本さんを置き忘

れて来たのに気がつく。林さんに残つても

らって、我々は灘温泉に先行する。

灘温泉で汗を流し、

野中さんが合流して

パンダ飯店で懇親会。

懇親会は人数が多い

ハイキングでは50分歩いて10分休憩が原則であるが、小まめに水分を補給するた

めに20~30分毎に小休止する。下りとは言つても途中に小さな

急な登りがあり、汗が



史談会特別企画

弘法大師の史蹟探訪ツアーエ東寺→高野山》

平成22年度史談会
テーマ“空海とその時代”を終えて弘法大師の三大史蹟のうち、東寺と高野山を講師の田尾先生自ら引率してのツアーガ実施されました。

弘法大師といえば日本人なら子供のころより誰しも持ち続けているイメージがありますが、全6回の講座で意外な事柄や行動を学ぶにつけて、ツアーガ楽しみになつ



て参加致しました。今回の参加人員は13名(先生含む、東寺のみ方1名)。

8月7日(土)大阪

からバスが途中高速道路の渋滞のため30分遅れの10時30分

東寺東門に到着。現地集合の3名が合流。本

日東寺をご案内戴く土口哲光教化部長も

東門に出来て頂きま

した。東寺は空海が嵯峨天皇より永く給

預された寺で厳密には今だ天皇家の寺といえる。鎮護国家の道場として、教王護国寺と命名された。

本日は特別拝観ではじめに五重塔ついで伽藍配置どうり、金堂、講堂、食堂の順に國宝、重要文化財級の仏像や涅槃図等を拝観しました。つぎに空海が住んでいたという御影堂、天皇行幸の際は御座所となる小子坊、最後に筆頭格塔

頭の觀智院を見学。

いづれの建物も戦

火に遭い、その都度、時の援護者により再建されて今日に至つております。創建当時のまま残っている建物はないとのこと。ただ、仏像、かけ軸などは寺の方々のご苦労により戦火を免れ、本日拝

観したものその他にも数多く残されております。洛南会館で昼食後、高野山に向けて出発。途中道の駅で休憩をとりつつ、予定通り橋本に到着。

まず高野山創建時一山の事務統括する

政所であり、弘法大師の母君(玉依御前)がお住まいになった慈尊院を参拝。本尊弥勒佛は子授け、安産など女性の信仰があり女人高野と呼ばれていました。

翌朝5時起床。ほぼ全員が朝の勤行に参加。護摩供と通常のお勤めが並行して行われた。護摩供は住職が日曜日当番とのことで自ら、昨夜出された厄除け祈願のお払い等を勤めておられました。7時30分からの朝食も終わりかけた

う途上にある朱色の

大きな太鼓橋で有名な丹生都比売神社を参拝。丹生都比売大神は天照大神の妹にあたる女神でその御子である高野御子大神(狩場明神)を遣わし、空海を高野山へ導き、神領地である高野山を譲り渡したと伝えられている。

夕刻、予定より45分遅れて宿坊の無量光院に到着。入浴の後、19時より広間で夕食をとりつつ、予定通り橋本に到着。

まず高野山創建時一山の事務統括する政所であり、弘法大師の母君(玉依御前)がお住まいになった慈尊院を参拝。本尊弥勒佛は子授け、安産など女性の信仰があり女人高野と呼ばれていました。

奥の院までの境内には戦国時代の武将が呉越同舟となつて墓石を並べており、最近は企業がわが戦士を弔うために墓石を立てているのが目立つました。

金剛峯寺には11時に参拝。元来高野山は“一山境内地”と称し、金剛峯寺は高野山全体を指していたが現在は高野山真言宗總

職が参られ、しばらく法話の後、皆に御念珠を下された。

時間も差迫り、8時30分昼食会場となる中本名玉堂差回しの

ガイド付きマイクロバスで出発、奥の院弘法大師御廟参拝。八五年(承和二年)3月21日ご入定以来、生き身のままおられるとして3度の食事と2度のお八つが今も捧げられている。ちょうど午前のお八つ時間に集まり焼酎を飲みながら外国宗教との比較も交えた宗教談義に花が咲く。明日の朝6時からの勤行に参加するために21時30分に切り上げ就寝。

翌朝5時起床。ほぼ全員が朝の勤行に参加。護摩供と通常のお勤めが並行して行われた。護摩供は住職が日曜日当番とのことで自ら、昨夜出された厄除け祈願のお払い等を勤めておられました。7時30分からの朝食も終わりかけた

お茶と菓子を頂きながら法話を賜った。蛇腹道を経て壇上伽藍へ向かう。空海が唐より投げた三鉛杵が松の枝に留まっていたとされる“三鉛の松”

を見学。昼食を摂り、休憩ののち13時30分、バスで靈宝館見学に向かう。

靈宝館は一九二一年(大正10年)に高野山内の貴重な文化遺産の保存、展覧する施設として金剛峯寺と有志の寄付により開設。国宝21件、重文143件をはじめ多数が収蔵されています。14時30分バスで高野山駅に向かう。予定していた特急が満席で取れず、橋本駅より急行で難波駅に向かうこととする。難波までに途中下車の人も

あつたが、17時過ぎに難波駅無事到着。ホームで解散した。

今回のツアーア、田尾先生には大変お世話をになりました。参加者一同に成代って御礼申し上げます。

勝山清(昭42年商)

